

中性脂肪蓄積心筋血管症治療薬「CNT-01」の 国内第Ⅱb/Ⅲ相臨床試験開始のお知らせ

トーアエイヨー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：高橋 敦男、以下「トーアエイヨー」）は、国立大学法人大阪大学（所在地：大阪府吹田市、総長：西尾 章治郎、以下「大阪大学」）から2020年2月に導入した中性脂肪蓄積心筋血管症（以下、triglyceride deposit cardiomyovasculopathy：TGCV）治療薬「CNT-01」について、この度、国内第Ⅱb/Ⅲ相臨床試験を開始したことをお知らせします。

本試験は、特発性TGCV患者を対象とした日本国内での後期第Ⅱ相及び第Ⅲ相臨床試験であり、プラセボを対照とした多施設共同二重盲検並行群間比較試験により、CNT-01の有効性及び安全性を評価します。本試験には、TGCVの発見者である大阪大学大学院医学系研究科中性脂肪学共同研究講座 平野賢一特任教授（常勤）に医学専門家として参加いただいております。

TGCVは、2008年に平野賢一氏らにより日本の心臓移植待機症例から発見された新しい疾患であり、心血管系の主たるエネルギー源である長鎖脂肪酸が利用できず、細胞内に中性脂肪が蓄積することに起因して、重症心不全、不整脈、虚血性心疾患等を呈する予後不良の重篤な疾患です。現在、国内外でTGCVを効能又は効果として承認された医薬品は存在しておらず、治療薬の上市が強く期待されていることから、その治療候補薬であるCNT-01は、2020年6月19日に厚生労働省の「先駆け審査指定制度」の対象品目に指定されています（2021年4月15日に大阪大学医学部附属病院からトーアエイヨーに申請者が承継されています）。

トーアエイヨーは、CNT-01の一日でも早い開発、普及を推進し、TGCVの治療に貢献すべく全力で取り組んでまいります。

以上

トーアエイヨー株式会社について

トーアエイヨーは、「循環器領域を中心に独創的な新薬を通して人々の健康に寄与する」ことを企業理念に掲げる製薬企業です。虚血性心疾患、不整脈、心不全等の循環器領域及びその周辺領域の新薬や付加価値後発品等の研究開発に取り組み、医療現場で真に必要とされるスペシャリティファーマを目指して、社会に貢献し続けて参ります。

トーアエイヨーの詳細については、(<https://www.toaeiyo.co.jp/>)をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

トーアエイヨー株式会社 総務人事部
TEL：03-5542-8800 FAX：03-5542-8743